

# 身近な環境を地域の学習会に 活かすために

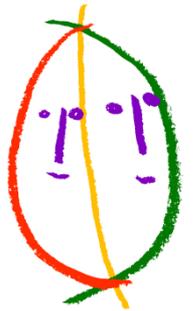
認定NPO法人環境市民  
下村委津子

私に教えてください。  
地域、身のまわりの好きなところ

# 環境市民のめざすもの

## 「持続可能で豊かな社会・生活」

海は青く澄み、川には魚が泳ぎまわり、  
山にもまちにも緑があふれ、夜空には星が美しくまたたき、  
生きものたちは絶滅の危機にさらされることなく生を尊ばれ、  
人々は他者と競い合うことなく共に助け合い、  
金儲けだけの仕事に追われることなく、  
子どもたちは未来に目を輝かせ、  
齢を重ねた老人たちはその知恵と経験を敬われ、  
誰もが社会の主人公として輝き、  
宗教や肌の色の違いで殺し合うこともなく、  
異なる文化を認め合い、飢えも戦争も差別もない……世界。



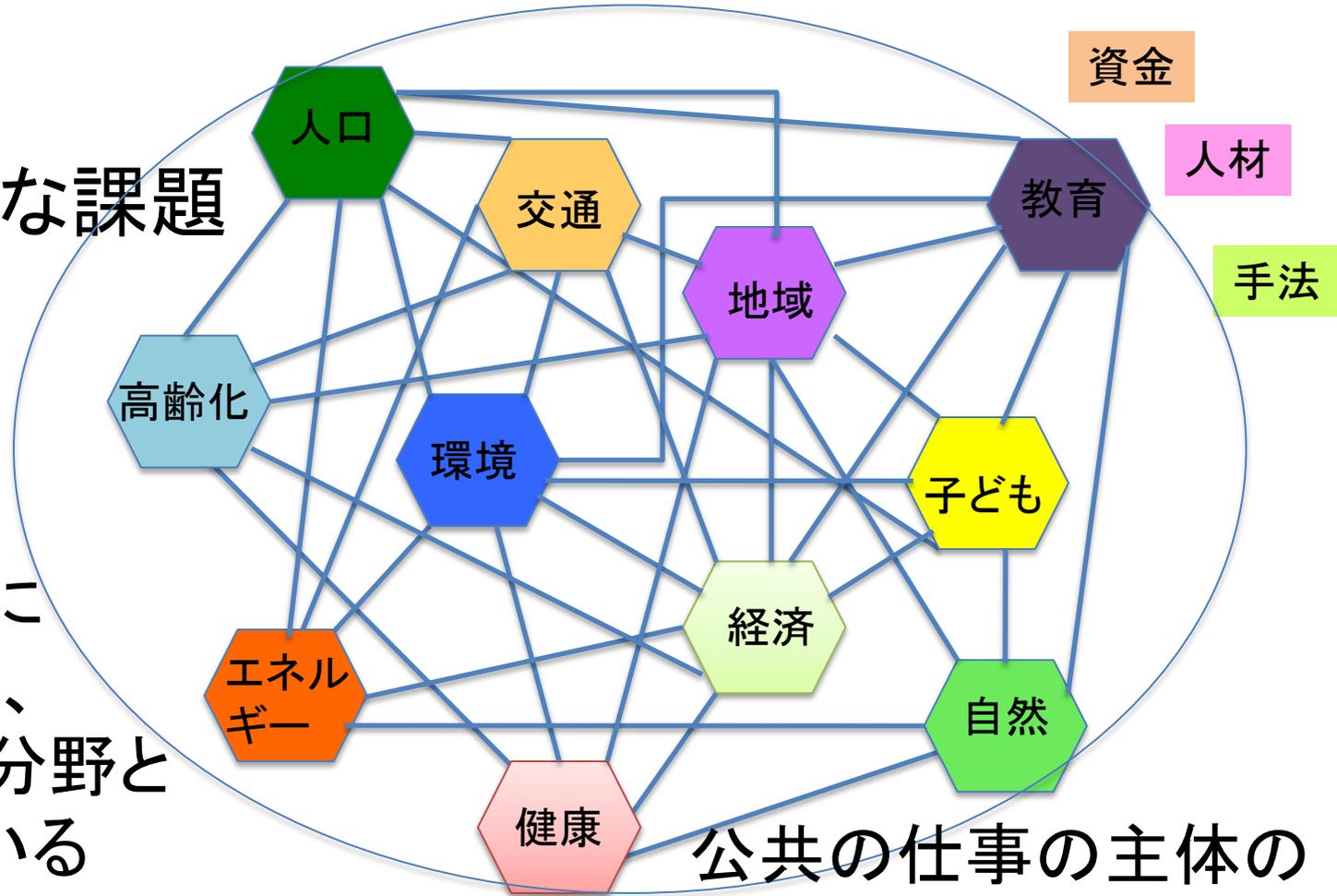
残念ながら、現代はこれとはほど遠い社会・生活です。しかし、私たち市民の手で、いつかこんな世界を実現したいと考えています。

# 複雑につながっています

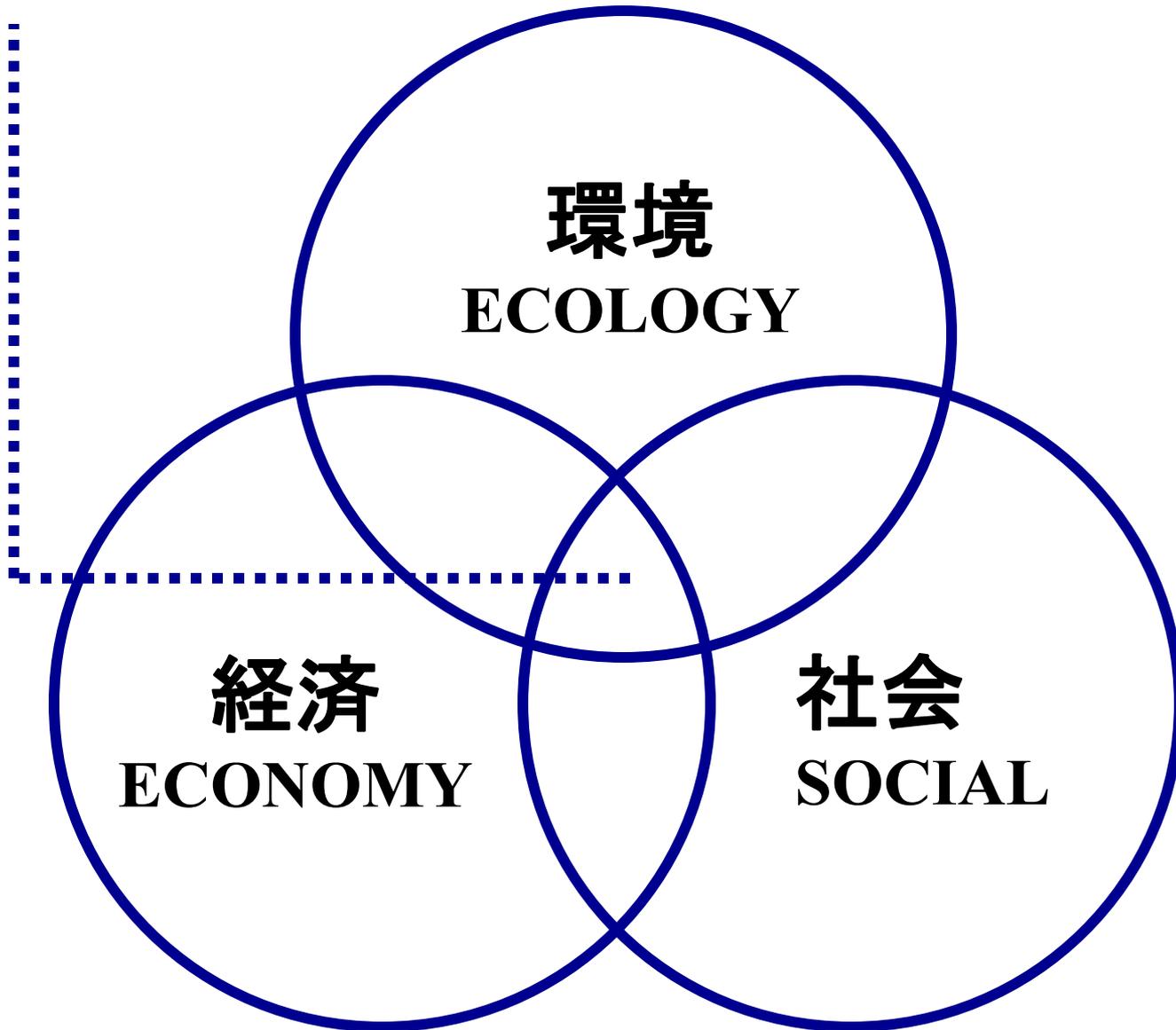
行政だけでは解決できない

地域にある  
さまざまな課題

単純な問題にとどまらない、  
複層的で他分野と  
絡み合っている



# 持続可能な開発・発展 Sustainable Development

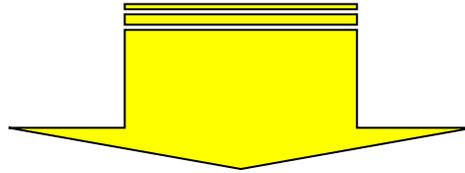


# めざす頂上が同じでも、 のぼり方はいろいろ



違いを生かせば、見えるもの得るものはもっと多くなる

# “違い”はエネルギー



## 新たな展開を生む要素

- 違う経験を持つ人は違う人脈がある。
- 思いも寄らない広がりが生まれる
- 多様性は、持続可能の基盤

地域にはすでに資源がある

# いろいろな人がかかると・・・

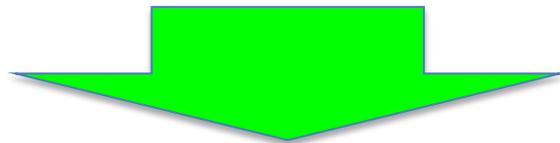
シナジー(相乗効果)を期待

**1 + 1 + 1 > 3 ?**

(住民) (事業者) (公民館・行政)

# 環境のことを考えるのは難しい？

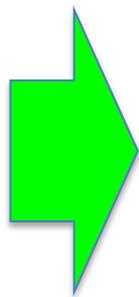
いいえ、  
環境のことを考えるのは、  
向こう三軒両隣のことを考えるのと同じくらい  
身近なことです。



毎日見ている景色、吸っている空気、  
歩いている道、田んぼ、畑、山、川、食、  
建物、交通、買い物、使っているもの、  
みんな環境とつながっています。

# 地域にはいろいろなものがある

家(建物)、道、空き地、緑、川、田んぼ、  
畑、生きもの、お店、商店街、交通、  
歴史、ものがたり、思い出、季節、  
ひと、表情、暮らし、コミュニケーション



地域に欲しいもの、  
安心・安全、便利、賑わい

+

「環境でまちの課題を解決する」  
という視点

みなさんが気づいていること

地域にはすでに資源がある

だから



それを、丁寧に掘り起こしていく作業  
必要な場所に持ってくる(フィットさせる)作業  
有機的につなげていく作業  
磨き上げて行く作業



大事

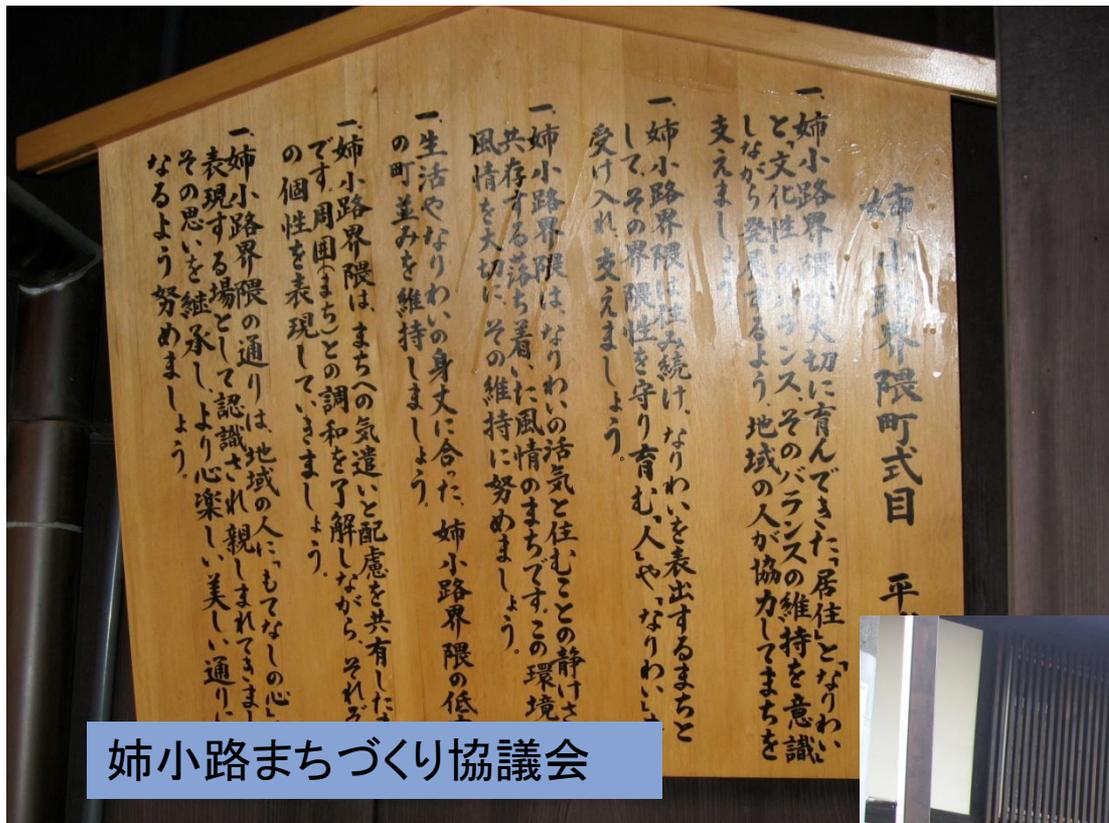
# 地域を知ろう まち歩きのアプローチから

- 地域に住んでいる人になってみる
- 訪問者になってみる
- 小学生になってみる
- お年寄りになってみる
- 外国人になってみる
- 動物や虫、鳥になってみる

# そこにあるものの意味

## ■存在には意味がある？

- どんなストーリーが隠されているのか、探ってみよう！
- 本来、あるべきものが、あるべき姿のまま、あるべき所にある。
- 形だけでなく、意味も一緒に伝わってこそ、そこに残るものがある。



エコセンの近所の建物



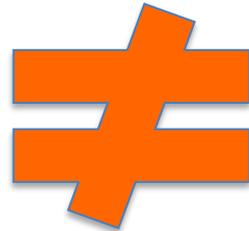
姉小路まちづくり協議会

地域を知る  
共通認識を持つ



# インボルブメント: 参画のデザイン

住民が主役の  
まちづくり



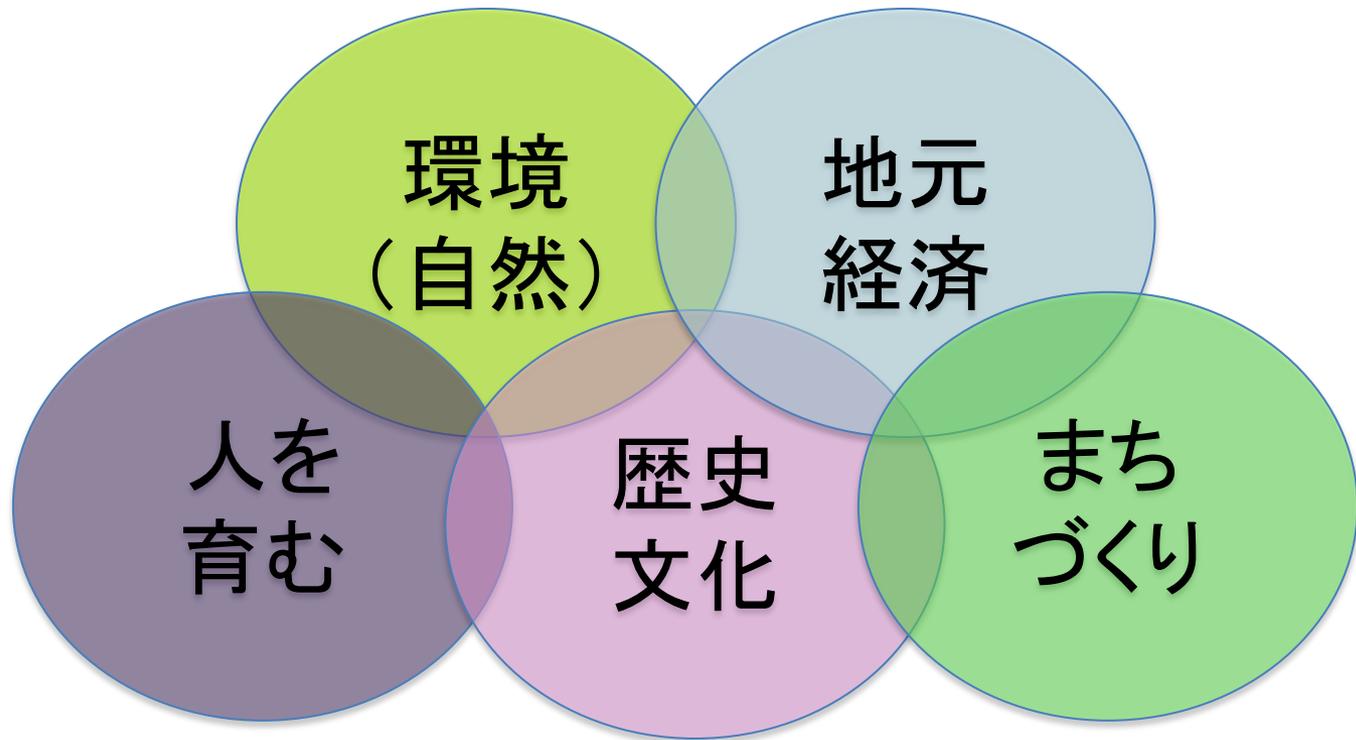
いきなり主役には  
なれません

地域の資源、アイデンティティ(地域の芯)を再認識する作業は、地域の人と一緒にやる、場をつくる、いっしょにワクワクする。

いっしょに発見し、いっしょに合意形成していくプロセスで地域の主役(主人公)は誕生する。

# つなげてみよう

場やモノを縦横斜めにつなげることを考える



つながるところに、新たな発見が！  
もともと、地元の人みんなやっていました。

**巻き込む力を身につけよう！**

**自分がおもしろくないことに、共感は得られない**

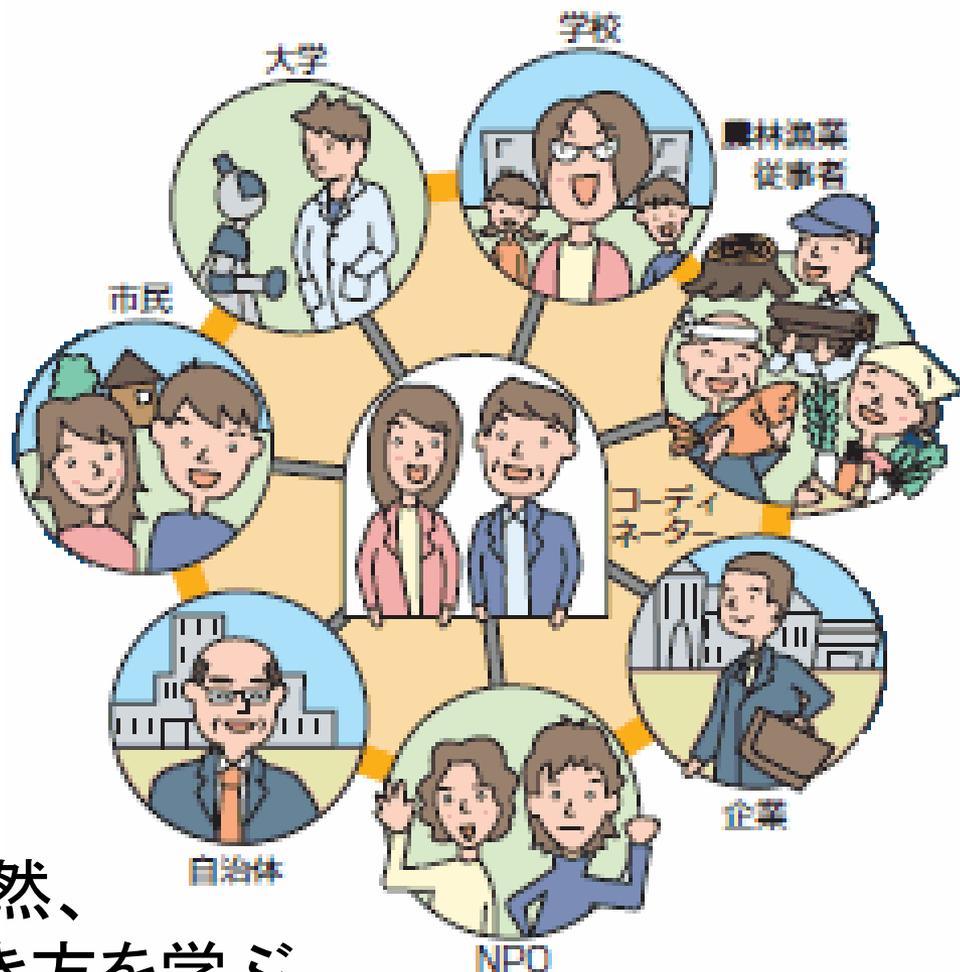
**夢を描けない人に、未来はつukれない**

**かかわる人、かかわる組織が WIN-WIN の  
関係にになるよう考えよう  
そして、それを伝えよう**

持続不可能な社会の課題を知り、  
その原因と向き合う。  
それらを解決するために  
できることを考え、実際に  
行動する。  
そのような経験を通じて、  
社会の一員としての  
認識や行動力が育まれ  
ていきます。

豊かな自然といのちの  
つながりを感じたり、  
地域に根ざした伝統文化や  
人びとと触れながら、人と自然、  
人と人との共存や多様な生き方を学ぶ

求められて  
いるのは



後半は・・・

<学び合い>

地域の事例を紹介して  
もらいましょう

# アジェンダ21

1992年地球サミットでの合意

**「アジェンダ21で提起されている諸問題及び解決策の多くが地域的な活動に根ざしているものであることから、地方公共団体の参加及び協力が目的達成のために決定的な要素になる」 (28章)**

として、国連が世界中の自治体に対して、ローカルアジェンダ21の策定を求めた

## ドイツの小さなまち 「エッカーンフェルデ」の挑戦

「ずっと、住むに値するまちをつくる」

では、どんなまちが住み続ける  
価値があるまちなのでしょう？

・・・その価値観は誰でもない、  
地域の人がつくります。

# エッカーンフェルデ市















エッカーンフェルデ

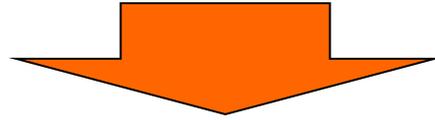


エッカーンフェルデ 乳母車

「ないものねだりから、  
あるもの探しへ」

**発想の転換**

# 水環境マップの作成で地域資源の再認識



## 地域の誇りと宝を見つける作業



# 水俣のお宝大辞典



# 水俣市の村まるごと博物館



## 頭石(かぐめいし)地区

地域固有の風土を活かした  
生活・文化を守り発展させてい  
こうという発想

- 集落の景観保全の方針を  
住民の合意で定め地区環  
境協定を結ぶ
- 地区住民の中から  
「生活学芸員」  
「生活職人」を認定  
外部からの見学者にも対応



- 1 元気な村づくりができる
- 2 住んでいる人が元気になる
- 3 外部から人が訪ねてくることが期待できる
- 4 ものづくりも期待できる

「うちの村には何もない」から

「うちの村にはあれもある, これもある」

と意識変化がおこる

◆効果

他所から誰も来なかった村に年間100人以上の訪問者  
地域でつくられたもの(野菜、蜂蜜、籠、豆腐づくりセット、  
陶器、弁当)が売れるようになった

# 長野県飯田市の 公民館活動

# 水辺の楽校



多様な世代が集まる  
場づくり

# 文化祭



親子ふれあいハイキング

# 地域の歴史・文化、 特性を大切にして 活かす取り組み

## 古墳まつり



イベントを支える婦人部



市長来場、メッセージ



乳幼児学級



大人の学校



子ども英語教室

地域ぐるみで学ぶ  
宝を育む

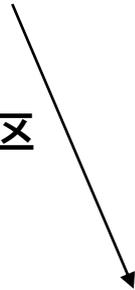
# 竜丘放課後子ども教室

文部科学省・長野県



飯田市

モデル地区



子ども教室開校

住民への  
アンケート調査



地域課題



ボランティアの参画



公民館が  
コーディネート

放課後子ども教室



放課後子ども教室

# 長野県飯田市 公民館の施設

公民館施設(建物)は、住民の学習文化活動、生涯学習を保障していく上で欠かせない条件の一つである。

- ・ 住民の自主的・定期的な学習活動については、使用料を無料としている。

公民館は、「住民のつどい寄るところ」として、地域づくりの拠点となっている。

# 環境市民のエコ修学旅行

## PLAN A 環境列車エコモーションで 自然体感旅行

●鴨川と高野川が出会う出町柳から自然豊かな山の奥、貴船・鞍馬を結ぶ叡山電鉄。ここに「エコモーション号」が走り出した。エコモーション（列車）にエコロジーを連結し、環境保護への想いを乗せて走ります。エコモーション号で豊かな自然体感に出かけてみませんか。



●叡山山は正体が鞍馬寺の境内。昔から人の手が入ることなく深く豊かな自然が育まれてきました。源義経・平家景隆が少年時代を過ごしたことも知られるこの山は、今でも天狗が出てきそうな巨木の森に囲まれた動物の生体です。山上には鞍馬山博物館があり、地学・生物関係の展示もあります。また貴船の里は新緑の季節として貴船神社が創建され、清浄の地として信仰を集めてきました。



注：エコモーションは、団体・本行程運行・時間不定、予約は別途必要。

## PLAN B エコマップを 作ろう！

●京都ほど「歩いて楽しい」街はありません。表通りから一筋路み込んで歩いてみたら、小さなウィンドウに飾られた人形や扇子、手袋に覆れた職人さん、赤い前掛けのお地蔵さん、古い洋館や美しい生け垣に出会えるかも知れません。

●まちの顔はまちまち！  
じっくり歩いて「まちの顔」を語り合います。そこは水と緑豊かなまち、それと水と緑とコンクリートだけの段層なまちかも知れません。またそこで暮らす人々の生き方が決まっていることがら、まちのありかたに決まってきたりして

# E C O

エコ

環境問題は私たち一人ひとりが後世に責任を負うべき課題であるという認識が生まれてきた今日、地球の上に生きる私たちの旅、人と環境にやさしい旅……。

# 京都

す。日本を代表する歴史都市・京都はどのような顔をもっているのでしょうか？

●京都を「面」で歩いてみよう  
これまでの修学旅行は、形寺と奇案を結ぶような「線」からのみ観るものでした。しかし京都の深中・上京・中京・下京・東山・西陣・嵯峨野・伏見などの地域を「面」でゆっくり歩いてみたら、その地域に合った特徴をたっぷりと感じることができるとでしょう。



●エコマップ＝発見地図に表してみよう

班別自主行動で京都をゆっくり歩いて、まちの風情・音・香りなどを五感を使って感じてみましょう。水と緑・民家・店、人・心地よいもの、よくないもの、きれいなもの、不思議なものなど、まちのなかでたっぷり体験できます。写真に撮った植物や文・写真など自由な方法で地図に表してみよう。楽しい班別行動を通じて、発見の環境と文化にふれる……、こんな楽しい体験をしてみませんか。



# SCHOOL TOUR

修学旅行

こんな新しい見方で1200年の歴史が思ふくまち・京都と出会ってみませんか。修学旅行の新しい提案です。

●エコ修学旅行のプログラムは、環境NGO「環境市民」のスタッフが、感動のある新しい出会いをお手伝いします。

## PLAN C

### お寺の森の 自然体験教室

●これまでにないふれ方、感じ方、わかり方で、自然との新しい「出会い」のメニューをたくさん用意します。

●木の時間をかけて会話し、みる、さまざまな「自然の色」を探しに行き、木の葉が小枝でまぶさをする……、こんな楽しい自然体験をしてみませんか？  
●京都には長興流、松竹下鴨神社と



ノ森、東山・上賀の法界堂・竹内各所に緑のフォーンがあり、豊かな自然の音が響き広がっています。一歩ひとりの豊かな感性を引き出し、表現していくことで新しい自然との関係が生まれます。自然体験リーダーと一緒に、楽しい活動の時間をお楽しみください。

## PLAN D

### 京都を小鳥の目で見よう

●大文字山に登り、京都市内を上から眺めてみましょう。盆地を開く東山・北山・西山の三山、川の流れる、点在する緑をみつめていたら、平安京遺跡の謎も解けるかも知れません。

●新緑の深緑や初夏の赤い大文字山の「木」の字まで、途中まで水や美しい新緑を楽しみながら、1時間定員のハイキングが待っています。ここからは京都盆地の一望です。案件がよければ



は大坂の高層ビルまで望むことができます。都の玄関を守る比叡山から、数々の登山道や青々とした山の山が誇り、そこから高野川・高野川の川が流れ、真正面の上町城で合流して、今の川が見えます。平安京以前の姿を伝えるノ森が、京都のセントラルパーク京都庭園の緑の顔です。

●当は見ることでできない平安京内裏の場所を確認して、ぜひ見たいところ、なぜそこにあったのかと疑問を抱いてみるはです。この美しい景色と自然環境に合ったことでもあります。

●武井がこの都へ入城してきたルートなどをたどってあるのも興味深いテーマです。このように地図で見るだけでなく、上から見てみると、1200年の歴史を感じずにはいられないでしょう。



## PLAN E

### アーティストの目で 京都を見つめる

●画家や写真家になったつもりで京都の「いま」を切り取ってみませんか。「京都らしい」風情、気持ちのいい風景、歴史を感じさせる風景……。絵や写真で表現しながら「京の顔」について一緒に考えませんか。



●1200年の歴史、京都には電山・嵯峨野に代表されるような人と自然が調和をたけ作り上げてきた素晴らしい歴史があります。しかし水や緑や電柱一つ一つのこの小さな町がたいへんになってしまっていることも多いです。この活動では、年頃の子供たちに画家や写真家にならなってみて、実際に絵を描いたり、写真を撮ったりして、自分たちが「京都の顔」について良いところや悪いところを考え、伝えたいことを話します。

# 静岡市の 中学校がエコ修学旅行



# 高畠町のエコドライブ

2007年～2009年度

実施回数 **88回**

実車講習 74回

DVD講習 11回

受講者 **1,497名**

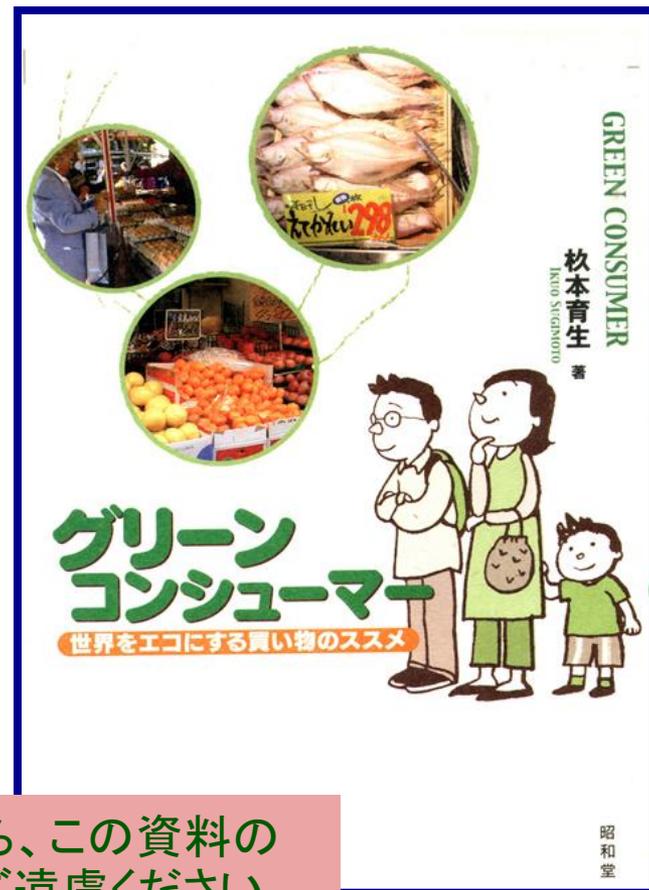
教習会(実車講習) 1029名



走行燃費平均

事前	14.40 km/L
事後	17.48 km/L

改善効果 **22.6%**



著作権上の理由から、この資料の許可のない複製はご遠慮ください

認定NPO法人 環境市民  
電話 075-211-3521 FAX 075-211-3531  
<http://www.kankyoshimin.org>  
[life@kankyoshimin.org](mailto:life@kankyoshimin.org)

認定NPO法人環境市民への寄付は、税制上の優遇を受けられます